

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和3年3月22日（月）

2 確認箇所

- ・既設淡水化装置（RO-3）
- ・F1タンクエリア

3 確認項目

- （1）既設淡水化装置（RO-3）の停止に伴う点検作業の状況
- （2）令和3年3月20日に発生した地震後の状況確認

4 確認結果の概要

- （1）既設淡水化装置（RO-3）の停止に伴う点検作業の状況について

令和3年3月20日の17時4分頃に、既設淡水化装置（RO3）で、「逆浸透膜処理ユニット3異常」警報が発生し、その後の東京電力の調査でウルトラフィルタ^{※1}（以下、「UF」という。）用空気圧縮機^{※2}が運転できないことが確認されたため、淡水化装置の運用が停止となった^{※3}。

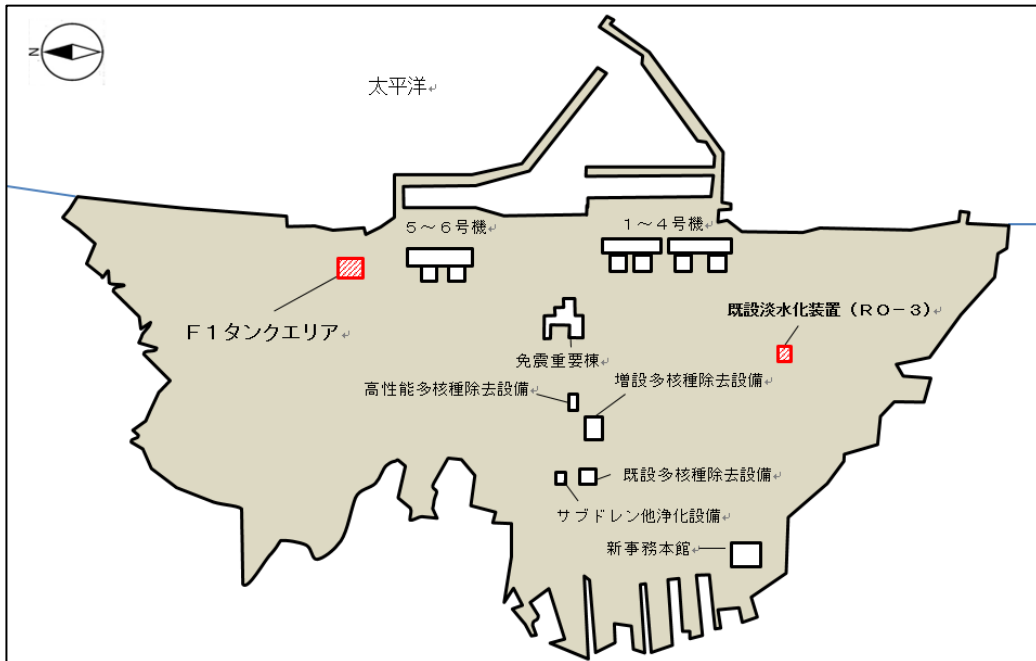
本日は、当該UF用空気圧縮機の点検作業が実施されたことから、状況を確認した。（図1）

- ・現場確認時には、UF用空気圧縮機の点検作業が実施されており、東京電力社員及び作業員が現場の制御盤を確認していた。（写真1）
- ・東京電力によると、UF用空気圧縮機の運転に異常はなく、圧力制御も可能であることから、近日中に運転を再開する予定とのことであった。
- ・また、原因調査や再発防止対策の検討は引き続き実施するとのことであった。

※1 既設淡水化装置による淡水化処理（塩分除去）を行う前に、ゴミ等の不純物を除去するために設置している前処理用のフィルタ。

※2 UFの前後に付いている空気駆動弁を開閉するための空気を空気駆動弁に送るための機械

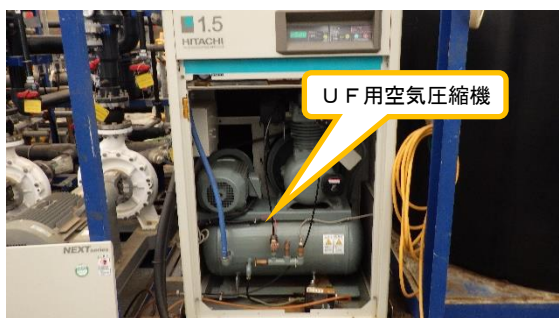
※3 東京電力によると、原子炉へ注水するための水源については、淡水化装置処理水タンクに貯留している淡水があることから、直ちに影響がでないことを確認しているとのことであった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
既設淡水化装置 (RO3) の外観
北東側から撮影



(写真1-2)
点検中のUF用空気圧縮機

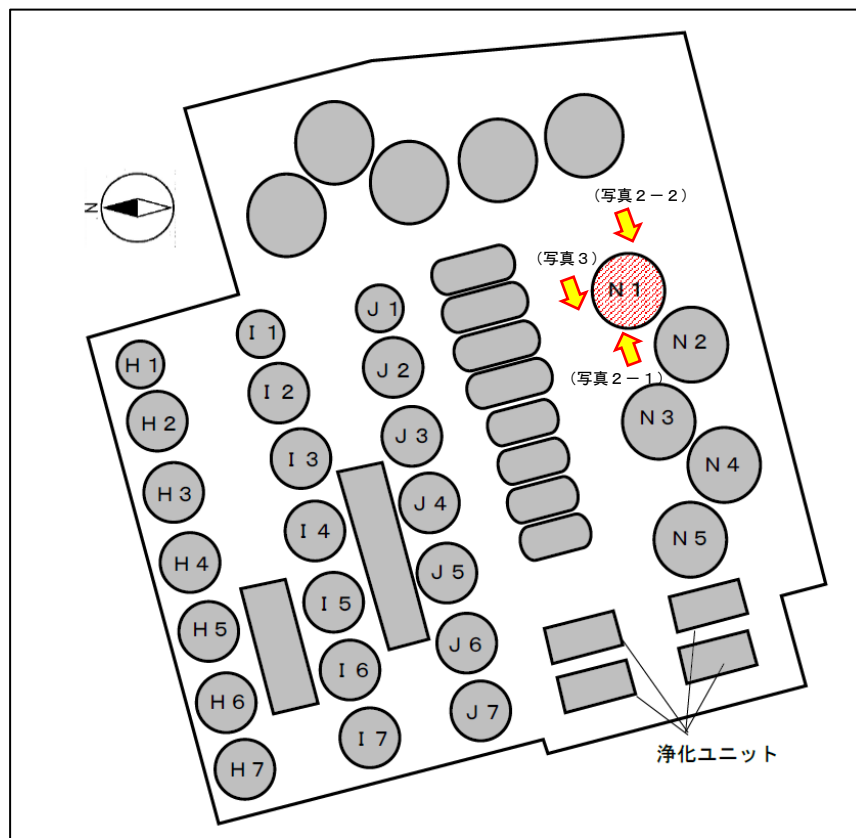


(写真1-3)
制御盤を確認中の東京電力社員及び作業員

(2) 令和3年3月20日に発生した地震後の状況確認について

令和3年3月20日18時9分頃、宮城県沖を震源とする地震（マグニチュード6.9）が発生し、この地震によりF1タンクエリアのN1タンクが最大7mm程度滑動したとのことであったため、状況を確認した。（図1、2）

- ・現場を確認したところ、堰基礎床面の被覆膜にめくれ等があり、タンクが滑動した形跡が確認された。（写真2）
- ・目視確認した範囲では、配管のズレ等は発生していなかった。（写真3）



(図2) Fタンクエリア配置図



(写真 2 - 1)
N 1 タンクの滑動の状況①
西側から撮影



(写真 2 - 2)
N 1 タンクの滑動の状況②
東側から撮影



(写真 3)
配管の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。